

雄武地域マリンビジョン かわら版

第24号
H21.12.18発行

このかわら版は、雄武町における水産業を核としたまちづくり（地域マリンビジョン(以下MV)※）について、活動内容を皆様にお知らせするため発行しております。

◆幌内小秋サケ漁体験乗船



9月12日（土）、幌内小学校の5・6年生の児童が、サーモン学習の一環として地元の秋サケ漁を見学しました。

幌内漁港で第8協盛丸（三河裕行船長）に乗せてもらい、午前5時に出港！定置網を仕掛けている場所まで移動し、水揚げの様子を見学。沢山の暴れまわるサケや、船上活めの作業の様子などを熱心に見入っていました。

幌内小学校の児童たちは春の稚魚放流なども行っており、サーモン学習を通じ、雄武のサケの生態について実物を見ながら学んでいます！！

■クラゲ大量発生！！

各地で大量発生し、漁業に深刻な影響を与えているエチゼンクラゲが、雄武でも10月頃から急激に増加してきました！！

鮭定置や底建網などで大量に混入しており、クラゲを除去する為に多大な労力を要するほか、網に入る魚が激減してしまうなど、様々な悪影響を及ぼしています！！



※地域マリンビジョンとは？

北海道開発局においては、明日の活力ある北海道水産業の将来像を「北海道マリンビジョン21」として示しています。雄武町では、「北海道マリンビジョン21」に示された主旨に賛同し、H17年度より「雄武地域マリンビジョン」の検討を進めており、平成19年12月にモデル地域に指定されたところであります。

●雄武救難所・海難救助訓練

10月21日（水）、日本水難救済会雄武救難所による海難救助訓練を、雄武漁港荷捌所前で実施しました。

紋別海上保安部の指導の下、救命索発射器（救命用のロープを遠くまで飛ばす器械）操法、ゴムボート操法、消火活動、心肺蘇生法などの訓練を行いました。



今回のような訓練はほぼ毎年行われており、海難救助の為の技術・知識の向上を図っています。

昨年8月にも、沖に流された釣り人を救助しており、雄武町内における海難事故死は4,700日以上発生していません！！

これからも訓練を継続していき、悲しい海難事故死を防ぎましょう！！

●元稲府漁港の工事業者による清掃活動

10月23日（金）、元稲府漁港内における清掃活動が、今年度の工事請負業者により行われました。



清掃は主に工事を行う北護岸側のみで行いましたが、それでも左の写真の様に大量のゴミを回収する事が出来ました。

工事は冬期間を通して行われ、きれいで使いやすい元稲府漁港が作られる事でしょう！

意見・感想など、ご遠慮なく下記へお寄せ下さい。



今年もあと少しになりました。来年も様々な活動をここで報告したいと思います！

【編集・発行】

雄武地域マリンビジョン事務局

【お問い合わせ先】

雄武町役場 産業振興課 水産係

Tel 0158-84-2121 Fax 0158-84-2844

mail sangyo@town.oumu.hokkaido.jp